

小学校（3・4年生）
2月
もっとよく知り合おう

時間とともに、それぞれのイメージや学級内の人間関係が固定化されてくる。今まで見えなかった面を引き出し、新しい人間関係づくりをすることで、新たな学級展開をめざす。

活動の実際

＜AHA体験＞ いないいないばあ	
準備物	なし
活動内容	支援及び留意点
①両の手のひらを組んで、組んだまま手首を内側に回す。 ②人差し指を鼻の両脇に置いて、手を組みほどく。 ③両手が重ならず、広がるはず。	○実際にやりながら、やり方をまねてもらおう。 ○広がらない人は、指の組み方を変えてみる。
＜発展＞ ○広がった人は、広がらない方法を考える。	
＜ふりかえりの視点＞ ○なかなかできない時、どんなことを感じた？ ○うまくできた時、どんなことを感じた？	
＜比喻（メタファー）＞ ○方法に変化を持たせ、いろいろな方法で挑戦する。	

よろしく	
準備物	なし
活動内容	支援及び留意点
①全員が輪になっていすに座る。 ②リーダーは輪の中に入り、簡単な自己紹介をした後に「よろしく」と言う。 ③「よろしく」を合図に、他のいすに座り直す。 ④いすに座れなかった者がまた自己紹介を続ける。	○みんなの前でうまく自己紹介ができない者もいるので、配慮が必要。 ○いつも同じパターンで動かない。 ○いすの奪い合いは危険を伴う。
＜発展＞ ○2人組を使って行う。 ○「よろしく」以外の合図を考える。	
＜ふりかえりの視点＞ ○何度も座れない人に配慮した？	



めちゃぶつけ	
準備物	フリースボール（人数分）
活動内容	支援及び留意点
①適当な範囲を決める。	

② 1人が1つずつボールを持ち、ぶつ ③ ボールが当たったら、その場でフリー ④ フリーズした状態で、ボールに当た たら、生き返ることができる。	○初めだけ自分のボールを持っているが、 その後はどのボールでもよい。 ○あまり本気でぶつけない。
---	--

<発展>
 ○手を挙げている時だけ、復帰できる。

<ふりかえりの視点>
 ○当てられてフリーズした時の気持ちはどう？
 ○当てられて生き返った時の気持ちはどう？



見えない共通点

準備物	なし	
	活 動 内 容	支援及び留意点
	① 4人一組になる。 ② 2分以内で、4人の共通点をできるだけ多く見つける。 ③ その共通点は一見してわからないことに限ることを知らせる。 ④ グループごとに共通点の個数を発表する。	○グループの誰かが数えておくよう確認する。 ○共通点の個数は、あくまで意欲付けに使うだけであり、勝敗はつけない。 ○いくつであっても、「共通点が見つかったことはすばらしい。」と強調する。
	<発展> ○制限時間を変える。 ○目標個数を決めて、時間を測る。	
	<ふりかえりの視点> ○今回のこの活動のねらいは何だと思う？ ○共通点と相違点とどちらが多かった？	



ビート

準備物	なし	
	活 動 内 容	支援及び留意点
	<課題>全員でできるだけ早く1セット終 えること ① 2人組で向き合い、1回自分で拍手を した後、相手と1回手を合わす。 ② 拍手をはさんで、相手と手を合わす回 数を2回、3回、4回、5回、4回、 3回、2回、1回の順に変えていき、 最後は、拍手1回で終わる。 ③ 慣れたきたら、間違わずにできるだけ 早く行う。 ④ 4人、8人と増やしていき、最後は全 員で行う。	○非常に簡単だが、2人組から全員へと 発展できる活動であり、Eの活動にむ けての事前準備にもなる。 ○年齢によって難しい時は、無理に全員 までいかなくてよい。
	<発展> ○自分の拍手を変えていく。	
	<ふりかえりの視点> ○相手と合わせるために、どんなことを考えた？	